



FFRI、MWS Cup 2013 で柔軟かつチャレンジングな発想に「FFRI 賞」を新設・授与
～次世代のマルウェア対策研究を担う人材育成に貢献～

サイバーセキュリティ領域において国内で独自の研究開発活動を展開している株式会社 FFRI(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:鶴飼裕司、以下 FFRI)は、2013 年 10 月 21 日～23 日、サンポートホール高松にて開催された「マルウェア対策研究人材育成ワークショップ 2013(略称:MWS 2013)」の「MWS Cup 2013」において企業特別賞として「FFRI 賞」を新設し、授与を行いました。

「FFRI 賞」新設で、急務となっているマルウェア対策研究を担う人材育成を促進

CSS(Computer Security Symposium、コンピュータセキュリティシンポジウム)のワークショップとして 2010 年から合同開催されている MWS は、高度化するマルウェアによるセキュリティインシデントに迅速に対応するため、研究用データセットの提供、研究成果の共有ならびに切磋琢磨する環境の提供を通して、マルウェアに関する専門知識を備えた研究者・実務者の育成を目的としています。MWS Cup では、研究用データセットの活用によるマルウェア対策研究の成果を活用して、想定時間内に課題に取り組み、解析結果を競います。

FFRI は、実行委員・プログラム委員等として MWS の運営に参画してまいりましたが、昨今、急増し続ける官公庁や企業等へのサイバー攻撃の対応が急務とされいながら、その人材が国内で潜在的に約 8 万人も不足している^{※1}とも言われており、このたび将来のマルウェア対策研究を担う人材育成をより促進すべく、MWS Cup の企業特別賞として「FFRI 賞」を新設いたしました。

また、「FFRI 賞」の新設と合わせ、新たな試みとして今年からマルウェア対策研究の一助として弊社が日頃の研究開発で収集したマルウェア検体から抽出した「FFRI Dataset^{※2}」の提供も行いました。

※1 出典:「サイバーセキュリティ戦略」2013 年 6 月 10 日 情報セキュリティ政策会議

※2 FFRIで日々収集しているマルウェア検体からランダムサンプリングを行い、約 2,600 件分を Cuckoo Sandbox と呼ばれる動的解析の仕組みに掛けることで、その挙動情報を抽出したものです。MWS Cup2013 の優秀論文賞を受賞した藤野朗稚さん(早稲田大学)の研究「自動化されたマルウェア動的解析システムで収集した大量 API コールログの分析」にも「FFRI Dataset」が利用されています。

FFRI は MWS Cup を通じ、高い知識力を持つマルウェア対策研究の人材を育成し、健全な IT 社会の発展に貢献してまいります。

【FFRI 賞 受賞チーム】

「GOTO Love and 初代森研」チーム



写真は MWS Cup「FFRI 賞」表彰式の様子

(2013 年 10 月 22 日 サンポートホール高松)



【FFRI 賞 選出理由コメント:FFRI 代表取締役社長・鶴飼】

「ユニークかつ全課題に対して解法を真摯に解説したプレゼンが大変印象に残りました。参加 13 チーム中、“最も柔軟でチャレンジングな発想が見られたチーム”として評価させていただきました。今後の益々のご活躍を期待しています」

【FFRI 賞 受賞コメント:「GOTO Love and 初代森研」代表 永井信弘さん(早稲田大学)】

「来年は FFRI Dataset を使って論文でも入賞を目指します」

【賞概要】

名称 :FFRI 賞

選出方法 :MWS Cup 2013 において最も柔軟でチャレンジングな発想が見られた1チームを、同 Cup 評価委員を務める FFRI 代表・鶴飼が独自に選出

副賞 :マイクロソフト Surface RT

【イベント名称】

マルウェア対策研究人材育成ワークショップ 2013(MWS2013)

<http://www.iwsec.org/mws/2013/about.html>

【日程】

2013 年 10 月 21 日(月)～23 日(水)

【主催】

(社)情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会 MWS 組織委員会

【合同開催】

コンピュータセキュリティシンポジウム 2013(CSS2013)

<http://www.iwsec.org/css/2013/index.html>

■株式会社 FFRI について

当社は 2007 年、日本において世界トップレベルのセキュリティリサーチチームを作り、IT 社会に貢献すべく設立されました。現在では日々進化しているサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で対策技術の研究開発に取り組んでいます。研究内容は国際的なセキュリティカンファレンスで継続的に発表し、海外でも高い評価を受けておりますが、これらの研究から得られた知見やノウハウを製品やサービスとしてお客様にご提供しています。主力製品となる、「FFR yarai」はミック経済研究所調べ^{※3}によるエンドポイント型標的型攻撃対策分野における出荷金額において No.1 を獲得しております。

※3 出典:「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2013【外部攻撃防御型ソリューション編】」

本件に関するお問い合わせ先
写真・資料等をご入用の場合もお問い合わせください。

株式会社 FFRI
コーポレートコミュニケーション部 PR 担当
TEL: 03-6277-1811
E-Mail: pr@ffri.jp URL: <http://www.ffri.jp>

「FFRI」、「FFR yarai」は、株式会社 FFRI の登録商標です。

その他すべての社名、製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

ミック経済研究所の調査資料等、ミック経済研究所の著作物を利用する場合は、ミック経済研究所にお問い合わせください。